

## 平成30年11月定例教育委員会会議録

平成30年11月3日 定例熊谷市教育委員会を大里生涯学習センター研修室に招集する。

### ○ 出席者

野原 晃、西山 富由紀、加藤 道子、齋藤 洪太、本塚 雄一郎

### ○ 出席事務局

教育次長 小林 教子

教育総務課長 田島 斉

教育総務課

保健給食担当副参事 馬場 伸夫

学校教育課長 渋谷 昌美

社会教育課長 鶴田 敏男

中央公民館長 森田 安彦

文化センター所長 田中 博

教育総務課副課長 田谷 憲司

教育総務課主幹 増田 彩子

## 11時10分 11月定例教育委員会開会

教育長から、平成30年11月定例熊谷市教育委員会の開会の宣言があり、傍聴希望者がいないことの確認があった。

10月定例教育委員会の会議録については、出席委員全員の承認を得た。教育長が、本会議の会議録の署名人に、教育長職務代理者西山委員を指名した。

教育長から、報告第11-5号は、人事に関する案件であることから非公開とした旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で行われることに決定した。

### **日程第1(報告第11-1号) 寄附申出について**

教育総務課長から、9月11日から10月10日までに、ふるさと納税で「熊谷教育の推進のため」として、10件、計15万円の寄附申出、市内在住の方から「こども達に何かやりがいを持ってもらうため」として、図書「げんきくん物語 海をわたったコウノトリの大冒険」を市内小中学校45校及び教育委員会に、1冊ずつ合計46冊の寄附申出があったとの報告があった。また、文化センター所長から、市内在住の方から、「歴史資料のため」として「東京オリンピック聖火リレー関連資料一式」、市外在住の方から「美術品としての活用のため」として奥原晴湖画「千岳両壑図」の寄附申出があったとの報告があった。

#### **日程第1（報告第11-2号）11月教育委員会行事予定について**

教育総務課長から、11月27日に予定されている12月教育委員会の終了後、第8回総合教育会議が予定されているとの報告があった。

#### **日程第1（報告第11-3号）消費税率等の改定に伴う改正予定の条例及び規則について**

教育総務課長から、消費税法及び地方税法の一部改正に伴う来年の10月1日から予定されている消費税等の税率の引き上げを受け、市では、所管する施設等の使用料について、見直しを検討しており、これにより、使用料を変更する場合は、条例や規則の改正が必要であるため、条例は、市議会へ、また、規則については、教育委員会に諮る予定との報告があった。

#### **日程第1（報告第11-4号）出張所廃止に伴う公民館職員体制について**

中央公民館長から、市議会9月定例会において、熊谷市役所出張所条例の一部を改正する条例が議決され、平成30年12月末での10か所の出張所の廃止が決まり、出張所と併設されている公民館の来年1月からの運営については、従来と同様の体制を維持するための職員配置とすることが方針決定されたとの報告があった。

#### **日程第1（報告第11-5号）**

（非公開）

#### **日程第3（その他）「1人当たり年間図書貸し出し冊数」について（平成30年10月26日 埼玉新聞の記事より）**

（質疑）

加藤委員から、熊谷市の「1人当たり年間図書貸し出し冊数」が県内63市町村中54位という結果は、「学力日本一」を目標としている熊谷市にとって残念なことであり、図書館の活性化、体制の充実が不可欠であると感じたとの発言があり、原因や課題について質問があった。

文化センター所長から、市内の県立図書館での貸し出し冊数が含まれていないことや、特に平成29年度は、図書館のある建物の耐震化工事により休館期間があったことが影響しての結果であること、また、図書館利用が多い自治体では、自宅から図書館までの距離の近さや、開架図書の多さが影響していると考えられることなどが報告された。図書館利用増加につながる読書の習慣づけの促進などの新たな取り組みについて職員と話し合いながら、図書館サービスの充実を考えていくとの説明があった。

加藤委員から、自宅にいながらにして借りることのできる電子書籍を増やすこと

